

「水戸市観光審議会」ワークシートでの提案

第1回水戸市観光審議会を踏まえ、各委員に行なったワークシート形式でのヒアリング結果は以下の通りです。

1. 観光振興に向けて取り組みたい施策や要望

- ① 主要道路に象徴的な部分をデザイン画化した観光施設の案内標識を増設する(大橋委員)。
- ② お迎えの意思表示の効果も狙い、道案内道標を施設周辺に何か所か設置する(例:《好文亭表門通り》に到達距離(表門まであと●●mなど)(大橋委員)。
- ③ 観光案内パンフレットの統一版を発行する。水戸市内の総合案内と地区別特集方式で詳細案内型のガイドブックを保存版として発行する(金沢市,川越市など参考に)(大橋委員)。
- ④ 水戸市単体でなく,近隣市町村と共に観光してもらおうという発想をおりませる必要がある(高橋委員)。
- ⑤ 水戸駅内案内所をより活用するため,観光ボランティア案内を配置する(鹿倉委員)。
- ⑥ 水戸の豊かな自然,施設,街並,史跡など伝統,行事等を映像で紹介して旅行会社に売り込み,ツアー客を呼び込む(久信田委員)。
- ⑦ 農業,漁業を観光と結びつける。農業では,リンゴ狩り・イチゴ狩りへの集客や,貸農園を通じたつくる喜び,収穫の喜びを体験してもらおう施策を想定している。漁業では,市内に数多く存在する釣り堀,金魚堀の有効活用や水戸の汽水の鰻の蒲焼きを地域グルメとしてPRする(中山会長)。
- ⑧ 親鸞ゆかりの西念寺や関西の講中の宿坊機能があった信願寺を活用する(中山会長)。
- ⑨ 市民が,水戸の歴史や文化(水戸らしさ)を学び,理解し,誇りに思うことが一番大切。そのための,大人も含めた教育プログラムが必要(三上副会長)。
- ⑩ 市民が水戸らしさを大切にする。具体的には,水戸らしさを最大限に活かしたライフスタイルの実践(水戸の資源を活かす「暮らし」の実践)。使う,食べる,活かす,大切にする。地域のためのイベントなどにボランティアとして参加する。そのための,体験学習や各種支援策が必要(三上副会長)。
- ⑪ 行政はもちろん,水戸市民一人一人が水戸の広報担当者になる。行政としての広報のみならず,市民一人一人の広報活動を支援するツールの提供が必要(三上副会長)。
- ⑫ 主体は市民,行政はサポート役であり,市民をサポートする行政施策が必要(資金,制度・規制緩和,マネージメント,問題解決の支援,大義名分の付与,公的な賞づくり,広報面での支援)(参考事例:北海道シーニックバイウェイ協議会の活動)(三上副会長)。

2. ゴールデンウィークの誘客に向けたアイデア

- ① 具体的なアイデアは以下の通り。中心市街地で開催できれば、以後芸術館通りでの開催の可能性が見えてくる。複数回開催できれば、国道 50 号通り一本だけの水戸市中心市街地の面的展開が図られる（大橋委員）。
 - 【会場】 偕楽園四季の原と千波湖脇イベント広場 or 芸術館通り・国道 118 号交差点（水戸地裁脇）から国道 349 号交差点まで区間（水戸の中心市街地）
 - 【駐車場】 周辺及びパーク＆ライド方式
 - 【期間】 GW中複数日
 - 【年齢層】 ファミリー中心
 - 【テーマ】 ①モーターショー&ボートショー（県内ディーラーに呼び掛け）+B級グルメ大会，②全国骨董祭&全国瀬戸物市，③茨城県アマチュア演劇&アマチュア演劇&アマミュージシャン大会，④全国なんでもかんでもよろず大市
- ② 金沢、川越には以下の特徴がある。金沢は前田公の城下町を活かした都市改良，歴史文化遺産の保存から発想するまちづくり，金沢らしさを基本テーマに，市民一人一人が金沢の街づくりに共鳴し，今日の観光文化都市金沢を築きあげた（大橋委員）。
 - (ア) 両市とも歴史に基づいた観光資源が密度高く存在している。
 - (イ) 観光資源は中心街と一体になっている。
 - (ウ) 何よりも市民が観光を支え，観光を身近な産業とする意識が見て取れる。
- ③ ボンネットバスは人気があり定着してきたと思います。時間を気にせず市内が回遊できるよう，一般路線バスの利用も検討する（鹿倉委員）。
- ④ 「ケーズデンキスタジアム水戸」の施設の活用で交流人口を増やす。この時期水戸市は毎年「水戸招待陸上兼水戸市陸上競技大会」を同施設で開催している。新たな取り組みを行うことで，従来の応援者の他に，家族・知人・女性など観覧者が増え，ホーリーホックの誘客にも繋がり，他の観光施設・宿泊にも誘導をしていく（仲田委員）。
- ⑤ 親子で楽しめるイベント。楽しい乗りもの，体験コーナー，アニメの人気キャラクターの出演，マジックバルーン，スイーツまつり（久信田委員）。
- ⑥ 一粒の種から始める。かつて約 30 年前は笠間のもものが益子へ持って行かれていた。陶芸センターの会場と地元の熱意，当時はまさに「一粒の種」でした（中山会長）。
- ⑦ 水戸発祥の「オセロゲーム」の活用（中山会長）。

3. その他審議会で言い足りなかった意見等

- ① 二の丸資料館（水戸二中門脇）に「水戸城周辺のジオラマ」設置する。これを設置することで，水戸城跡を訪れる観光客が，水戸の歴史，当時のまちの様子等を一目で知ることができ，印象深く残ると思う（鹿倉委員）。
- ② 観光に関する構造改革特区の設定（中山会長）。